

## 寺社を巡る会

# 活動記録書

開催日： 令和元年5月2日（木）天気 晴れ時々曇り	開催テーマ： 旧東海道の神奈川宿を歩く
開催場所：旧神奈川宿	記入者：瀬川 健次
参加人数：寺社を巡る会会員 男 24名 女 8名 計 32名 ビジター 男 0名 女 0名 計 0名 合計 32名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：</p> <p>コース：京急神奈川新町駅（集合）→長延寺跡→良泉寺→金蔵院→熊野神社→神奈川地区センター（昼食） →成仏寺→慶運寺→宗興寺→本覚寺→大綱金刀比羅神社→台の茶屋→神奈川台の関門 →かながわ県民センター（解散）</p> <p>元号も令和となり最初の寺社を巡る会のスタート、今年度8回に亘り神奈川区いまむかしガイドの会の案内での計画である。神奈川宿は東海道53次の江戸から3番目の宿場神奈川湊を控え物流の拠点であった。街を歩いていると開港時の諸外国の領事館が沢山神奈川宿にあった。</p> <p>良泉寺 江戸時代初期に移転された浄土真宗大谷派、本尊阿弥陀如来立像があり、外国の領事館への利用を拒否。</p> <p>能満寺 鎌倉時代の虚空蔵菩薩坐像があり、門前に芭蕉の句碑がある。また山門が平成28年に建築され4体の四天王像が見事である。</p> <p>東光寺 平尾内膳が室町時代に創建。太田道灌との戦いに敗れたが敵に認められ建立された。慶応の大火で燃え尽きたがイチョウの大木が今も元気に育っている。</p> <p>金蔵院 1087年創建の神奈川宿で最古唯一の勅願寺、菊の紋が許され徳川の休泊所でもあった。真言宗智山派、本尊は阿弥陀如来立像である。</p> <p>成仏寺 鎌倉後期に創建、開港当時アメリカの宣教師の宿舎となる。ヘボン博士が居住した。</p> <p>慶運寺 別名うらしま寺と呼ばれている。開港時フランス領事館となっていた。</p> <p>浄瀧寺 鎌倉時代中期に妙湖比丘が開祖、境内の権現山から滝が流れていた。イギリス領事館があった。</p> <p>宗興寺 創建の時代は不詳だが、室町時代中期の鎌倉八幡宮関係の文書に記載されている古刹、安政6年シモンズが居住、その後ヘボン博士が診療所を開設し3500人を無料診療した。</p> <p>宮前 神奈川湊の辺りは旅籠や廻船問屋でにぎわった。</p> <p>甚行寺 江戸時代神奈川宿の呉服商伊勢屋甚右衛門の創建、開港後一時フランス公使館が置かれた。</p> <p>本覚寺 鎌倉初期に創建、山門は神奈川宿唯一の江戸時代の建造物、開港時はアメリカの領事館となっていた。横浜開港を提唱した岩瀬肥後守忠震の記念碑がある。</p> <p>帰り道、台町の往時の武蔵一の景勝と称賛された袖ヶ浦を通り、片側に茶屋が並んでいる様子を想像しながら横浜駅に向かった。PM2：30解散。</p>	
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>今年度のスタート天候にも恵まれ32名事故もなく無事終了することが出来ました、見学先が多くどこか一カ所、落ち着いて法話でもお聴きできればと思います。約10,000歩の歩行であった。</p>	
<p>次回の予定：</p> <p>6月6日（木）10時 東急妙蓮寺駅 妙蓮寺から菊名池や白幡池を巡る。</p>	